

令和4年度 事業報告

令和4年度次の事業を行った。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	47名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム 訪問介護サテライト事業(出張所)	50名
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45名
5事業所 本部(事務局)除く	19	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 人材育成・確保 | 4. 経営基盤の構築 |
| 2. 将来に向けての事業展開とサービス提供 | 5. 地域貢献計画 |
| 3. 施設・事業所の整備、管理計画 | 6. 計画に対する評価等 |

基本方針

人材育成・確保においては引き続きリーダーシップ機能の充実を図り、リーダー力を高め次世代を担う職員の育成に取り組む。また福祉人材の確保が困難な中、積極的な情報発信及び柔軟な雇用形態による確保対策を継続するとともに、定着に向けた環境づくりを推進する。

将来に向けての事業展開については、事業の特色、魅力あるプログラムの定着化を図り効果的かつ積極的な情報発信を行い、安心安全で高品質なサービスを提供することで永続する経営基盤に向けた収入を確保する。

福寿園の建替えについては計画的に進め、引き続き施設維持管理を徹底する。

令和4年度重点計画(方針)項目

I 人材育成、確保

- 1) 人材育成システムの構築
 - ① 育成プログラムの充実
 - ア 育成プログラムの修正
 - イ 育成プログラムの実施
 - ウ 職場復帰等プログラムの実施

- ②リーダーシップ機能の充実
 - ア 経営的視点を持った職員の育成の継続
 - イ 次世代を担う職員の育成の実施
- ③目標管理・キャリアパスの充実
 - ア 人事管理システムの検討（勤務実績の反映、昇給等）
 - イ 目標管理とキャリアパスの充実
- ④評価制度の作成
 - ア 評価表に基づき実施、評価
 - イ 利用者アンケートの実施、評価

2) 職員研修体系の評価

- ①職員基本研修体系の強化
 - ア （新）職員研修基本計画に基づく研修の実施
 - イ 実践研究発表会の充実
- ②専門性の充実
 - ア 専門的資格取得比率の向上
 - イ 積極的な地域への職員派遣

3) 帰属意識の推進

- ①帰属意識の推進
 - ア 帰属意識の推進
- ②働きがいのある職場環境の推進
 - ア 業務改善の取組みの推進
 - イ 職場環境整備の実施
 - ウ 健康づくりの実施

4) 人材確保の推進

- ①実習生・ボランティアの積極的な受入れ
 - ア ボランティア・実習生の受入れ継続
 - イ ボランティアの育成（マニュアルに沿った指導）
- ②広報活動の推進
 - ア 情報の発信の継続
- ③職員採用に向けた推進
 - ア 非正規職員の雇用の検討、実施
- ④障がい者雇用の促進
 - ア 法定雇用人数の雇用
 - イ 就労の為の環境の充実
- ⑤就業促進及び定着化
 - ア 職員の処遇改善に向けての周知・実施

II 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の再検討

- ①介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正
 - ア 介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正

2) 高品質なサービス提供の推進

- ①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの定着
 - ア 魅力あるプログラムの定着・PR
- ②PRの推進による高品質なサービスの確立
 - ア 効果的な情報発信の推進と高品質なサービスの確立
- ③地域包括ケアシステムに向けた事業の推進
 - ア 地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の推進
 - イ 介護予防サービスの見直しと評価、再検討

3) リスクマネジメントの強化

- ①事故防止対策委員会の機能強化
 - ア 事故のない事業所づくりの継続
 - イ 事故防止対策の啓発・評価

4) 新事業体系の確立

- ①養護老人ホーム福寿園の建替えに伴う新たな事業展開計画の実施
 - ア 具体的な施設整備計画の実施と修正
 - イ 在宅サービス事業展開計画の実施と修正
 - ウ 新たな事業運営に向けた職員配置計画に基づく整備実施と修正

Ⅲ施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

- ①大規模修繕の計画的な実施
 - ア Ⅱ期の見直しとⅢ期の大規模修繕計画の作成と実施
 - イ 建物維持管理計画の推進
- ②小規模修繕の実施
 - ア Ⅲ期の小規模修繕の実施

2) 大型備品の整備

- ①大型備品導入の検討、実施計画書の作成
 - ア Ⅱ期の見直しとⅢ期の大型備品購入計画の作成と実施
- ②適正な備品管理
 - ア 備品管理計画に基づく効率的な運用推進

Ⅳ経営基盤の構築

1) 目標の修正

- ①計画の修正、改善
 - ア 大規模修繕・大型備品整備に係る試算
 - イ 介護報酬等の加算取得に向けた取組み
 - ウ 補助金の情報収集及び確保の研究
 - エ 物品等の管理計画修正及び実施

Ⅴ地域貢献計画

1) 法人・事業所での計画実施

- ①実行、評価、改善
 - ア 地域貢献活動計画の実施

VI計画に対する評価等

1) 計画遂行状況確認

① 中間評価の実施

ア 進捗状況の評価

イ 見直しに係る検討

1. 本部(事務局)

人材育成・確保においては、自ら考え、行動するリーダー的職員の育成を進めリーダー力を高めるとともに、OJT(日常業務を通じた職員教育)を通して中堅職員、新人職員の底上げを図る。また働きやすい職場環境として効率的な業務を行い省力化を追求する。

将来に向けての事業展開については、新型コロナウイルス等の感染予防対策を継続するとともに、事故を未然に防ぎ、安心安全な事業を展開するためリスク管理を徹底する。

事業の特色、魅力あるプログラムを効果的かつ積極的な情報発信により定着化を図ることと経営基盤の構築に繋げる。

福寿園の建替えについては計画的に進め、引き続き施設の維持管理の徹底と必要な備品整備については、中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って計画的に進める。

人材育成についてリーダー的職員はリーダー力を高めるため主任会議を開催しよりスピーディーな取組みについて協議し、リーダー研修では役割を学び、更に自事業所の中堅職員研修を企画、実施した。中堅職員に於いては求められる役割等を学んだ。また本部と事業所との連携を強化し情報を共有し都度進捗状況を確認、意見交換しながら職員のレベルアップに繋げた。効率的な業務の追求として職員の健康チェックや気づきメモを電子化し、次年度に向けて出勤簿の電子化も進めデータ管理をしやすくしペーパーレス化も併せて行った。

新型コロナウイルス感染症について事業継続計画を国の指針に合わせて随時変更した。予防対策についても施設長会議等で協議しながら進め、事業所で発生時には早急に対策会議を開催、事業所間で協力し法人全体で対応することで影響を最小限に留めた。事故防止対策委員会では事故防止に加え、苦情等へのリスク管理として接遇の法人内共通様式でアンケートを実施し意見をもとに更に安心安全に利用して頂けるよう改善しサービスの質を高めた。

事業の特色、魅力あるプログラムを今年度の実践研究発表のテーマに決め、計画的に取り組み、更にホームページの記事を見やすく、見つけやすいものへとリニューアルし効果的な情報発信を行いながら経営基盤構築に繋げた。

福寿園の建替えについて入札を行い、工事請負業者を決定し建設工事に着工した。併せて島根県福祉施設整備補助金の交付が決定した。施設整備及び備品整備については計画的に行い、修繕に於いても都度対応し、最小限に留めた。

令和5年3月31日現在

職員配置状況

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ ホームヘルパー ステーション	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
正規・再任	8	10	3	4	12	22	10	10	79
準職員	5	3	1	0	3	6	4	2	24
非常勤職員	5	3	7	0	7	11	11	9	53
合計	18	16	11	4	22	39	25	21	156

事故、ヒヤリハット、気づき件数

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ ホームヘルパー ステーション	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
事故	0	2	1	0	3	3	1	1	11
ヒヤリハット	2	11	9	2	17	19	21	24	105
気づき	230	418	125	77	182	198	421	644	2,295
車両事故	0	1	1	2	0	0	0	0	4

事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだデイサービスセンター	2	① 上唇部受傷、上義歯破損 ② 右大腿骨頸部骨折
ビラおおだホームヘルパーステーション	1	① 頭部受傷
福寿園	3	① 恥骨骨折 ②配薬忘れ ③ 前額部打撲
相愛保育園	3	① 歯の外傷 ②右肘脱臼 ③ 上顎正中小帯の裂傷
ビラあさやま	1	① 薬の飲ませ忘れ
ビラたかやま	1	① 点眼薬左右入れ間違い

車両事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだ デイサービスセンター	1	① 乗車介助後Uターンしようとして切り返した際、消化器庫に接触し消化器庫及び公用車に傷、へこみ
ビラおおだ ホームヘルパーステーション	1	① 落ちそうになった荷物を左手で支えようとした際、操作を誤り公用車左前後脱輪、誘導標に接触し左サイドミラー破損
ビラおおだ 居宅介護支援事業所	2	① カーブで対向のバイクが見えたので停車したがバイクが止まりきれず接触し公用車右前フェンダー一部損傷 ② 信号で停車した際、後続車に追突され公用車全損

苦情内容・件数

事業所名	件数	内容
ビラあさやま	1	職員の対応について
ビラたかやま	1	職員の対応について

ボランティア受入れ件数(延べ)

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ ホームヘルパー ステーション	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
余興、作業 手芸、食育等	22	0	0	0	3	20	6	0	51

施設サービス(入所者状況)

事業所名	ケアハウスビラおおだ	福寿園
入所者数	月平均 50名	月平均 50名
男性	11名	16名
女性	39名	34名
平均年齢	89.3歳	81歳

通所介護サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだデイ サービスセンター	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1日平均利用人数	44.48名	28.5名	9.98名	34.76名

訪問サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだホームヘルパー ステーション	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	介護 643件、予防 24名 障がい 50件	介護 161.3件 予防支援 4件、予防ケア 1.3件

保育サービス(園児状況)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
月平均園児数	13.3名	19名	23.8名	24.3名	26.9名	21名	128.3名

1. 理事会の開催状況

第159回理事会

月 日 令和4年6月7日

場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事6名 監事2名 本部2名 施設長5名

議 題 (1)令和3年度事業報告について

(2)令和3年度資金収支決算について

(3)定款の一部変更について

(4)職員就業規則の一部を改正する規則の制定について

(5)育児・介護休業等に関する規程の全部改正について

(6)第62回評議員会(定時評議員会)招集の決定について

第 160 回理事会

月 日 令和 4 年 6 月 10 日

理事会の決議の省略(書面決議)

- 議 題 (1) 理事候補者の選任について
(2) 監事候補者の選任について
(3) 第 62 回評議員会(定時評議員会)招集の決定(議案の追加)について

第 161 回理事会

月 日 令和 4 年 9 月 22 日

場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名

- 議 題 (1) 養護老人ホーム福寿園改築工事業者の選定について
(2) 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について

第 162 回理事会

月 日 令和 4 年 10 月 13 日

場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事 5 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 4 名

- 議 題 (1) 理事長の選定について
(2) 常務理事の選定について

第 163 回理事会

月 日 令和 5 年 2 月 7 日

場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事 5 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名

- 議 題 (1) 養護老人ホーム福寿園改築工事請負契約の承認について

第 164 回理事会

月 日 令和 5 年 3 月 16 日

場 所 ケアハウスビラおおだ会議室

出席者 理事 5 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名

- 議 題 (1) 積立金の取崩について
(2) 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
(3) 準職員等取扱規則の一部を改正する規則の制定について
(4) 職員給与規則の一部を改正する規則の制定について
(5) 役員費用弁償等支給規則の一部を改正する規則の制定について
(6) 令和 4 年度資金収支補正予算について
(7) 令和 5 年度事業計画について
(8) 令和 5 年度資金収支予算について
(9) 理事候補者の選任について
(10) 施設長の選任について
(11) 第 63 回評議員会招集の決定について

2. 評議員会の開催状況

第 62 回評議員会(定時評議員会)

月 日 令和 4 年 6 月 23 日
 場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
 出席者 評議員 7 名 理事長 監事 2 名 本部 3 名 施設長 5 名
 議 題 (1) 令和 3 年度事業報告について
 (2) 令和 3 年度資金収支決算について
 (3) 定款の一部変更について
 (4) 役員を選任について

第 63 回評議員会

月 日 令和 5 年 3 月 24 日
 場 所 ケアハウスピラおおだ会議室
 出席者 評議員 7 名 理事長 本部 3 名 施設長 5 名
 議 題 (1) 令和 4 年度資金収支補正予算について
 (2) 令和 5 年度事業計画について
 (3) 令和 5 年度資金収支予算について
 (4) 役員費用弁償等支給規則の一部を改正する規則の制定について
 (5) 理事の選任について

3. 令和 4 年度監査

月 日 令和 5 年 5 月 29 日
 場 所 ケアハウスピラおおだ会議室、各事業所
 出席者 監事 2 名 理事長 本部 3 名 施設長 6 名
 議 題 (1) 令和 4 年度事業報告について
 (2) 令和 4 年度資金収支決算について
 (3) 福寿園預り金管理状況
 (4) 事業所視察

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議◎4/7 第三者委員報告会◎書面にて実施	10	施設長会議◎10/27 理事会◎10/13 中間ヒアリング◎各事業所にて実施
5	施設長会議◎5/26 監査会◎5/23	11	施設長会議◎11/28
6	施設長会議◎6/27 理事会◎6/7 定時評議員会◎6/23	12	施設長会議◎12/26
7	施設長会議◎7/26	1	施設長会議◎1/27
8	施設長会議◎8/25	2	施設長会議◎2/27 内部経理監査◎2/2 理事会◎2/7
9	施設長会議◎9/27 理事会◎9/22	3	施設長会議◎3/24 理事会◎3/16 評議員会◎3/24

研修

法人全体研修

月	研修名	参加者
4	新人職員研修◎4/1	3名
5	リーダー職員研修◎5/24	20名
	新人職員研修◎5/24	3名
6	人権同和問題研修会◎各事業所で実施	98名
7	メンタルヘルス研修会(管理者向け)◎7/6	12名
9	交通安全研修◎9/9	18名
1	リフレッシュ研修◎1/13	9名
2	中堅職員研修◎各事業所で実施	23名
3	実践研究発表会 審査◎3/16(録画しDVDにて実施)	100名

法人役員等研修

研修名等		
指導監査◎9/29	監事研修◎12/22	苦情解決研修◎10/14

事業所外研修

研修名
新型コロナウイルス感染症対策研修 ◎WEBにて都度実施
高齢者虐待防止研修(WEB研修) ◎3/17
その他専門知識等研修 ◎WEB, YouTubeにて都度実施

法人内部研修

法人内部講師研修 ◎5/24(認知症サポーター養成研修)

事業所内研修◎各事業所内研修計画に基づき実施

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

法人基本方針に沿い人材育成・人材確保及び事業の特色を明確にし魅力あるプログラムを展開し情報発信と利用者確保に取り組む。

人材育成においては、キャリアアップに基づき目標管理制度に PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルを活用し、日常業務の中での指導助言を大切に各々が相乗効果を生み出しスキルアップを図る。

人材確保では、全職員で業務改善意識を持ちコミュニケーションをとり意見交換をしながら働きやすい職場環境づくりに取り組みホームページや広報で発信し確保に繋げる。

人生 100 年時代の社会で、平均年齢 89 歳の入居者の方々が安心安全に笑顔で豊かに生活を送れるように、心に寄り添った支援を行うと共に、特色である「食」「健康管理」「地域貢献」の取り組みを継続し、新たなアイデアに SDGs（持続可能な開発目標）を意識した取り組みなどを入れ更なる特色の定着を図る。

タブレットを有効活用し、明確に分かり易い情報提供に努め利用者保証人の満足度アップと幅広い発信を目指す。

地域と連携を図りながら「地域貢献」を継続していく。

人材育成において、目標管理制度で個々の目標を明確化し、キャリアパスに基づく職位、職責を理解し、リーダー的職員を中心に日常業務の中で指導助言を行い、スキルアップを図った。

人材確保では、業務の効率化、簡素化に向け現状と課題を整理し、全職員で意見交換を行い、働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症により、行事等が制限される中でもやり方を工夫し、出来る方法を考え、感染症予防対策等のリスク管理を行いながら実施した。敬老会では、身元保証人からのメッセージに加え、写真等も添えて紹介したり、そば作り、もち米作りの 2 大プロジェクトを入居者の知恵を拝借し、収穫祭まで繋げた。GOTO 味巡りも 3 年の月日を持って、全国を巡って頂き、入居者の楽しみ、心身の健康に繋がった。

また今年度新たに SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みとして、畑にコンポストを設置し、資源の再利用に取り組み、併せて食事の残量等を分析し、主食の量や副菜の大きさ、献立等を工夫してフードロスに取り組んだ。

タブレットを活用し、新たに身元保証人 21 名のライン登録を行い、入居者の日頃の様子や変化について情報提供し、安心して頂き満足度アップに繋がった。入居者一人ひとりがケアハウスでの生活を継続して頂けるよう、関係機関との連携を密にし、小さな変化でも主治医等と連携して早めの対応を行い、年間入居率 100%を達成出来た。

地域貢献は、ふれあい食堂出前、配食弁当を継続し、地元地域のインフォーマルサービスの一つとして提供できた。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区自主防災会合同防災連絡会議 ◎4/14 ガーデンランチ◎4/22	10	秋の行楽遠足◎10/7
5	野外散策(花見)◎5/17 夏の野外食◎5/23	11	秋の野外食◎11/1 川合町文化祭への参加◎11/13 ケアハウス文化展◎11/15~23 野外散策(紅葉見物、銀杏のライトアップ)◎11/28 パン作り◎11/29 感染症予防勉強会◎11/4
6	ケアハウスピラおおだ合同通信発刊◎ 6/1 野外散策◎6/16 食中毒・疾病予防勉強会◎6/5 日中火災避難消火訓練◎6/2	12	

7	入居者懇談会◎7/14、15 夏祭り◎7/31	1	収穫祭(フルコース)◎1/24 新年挨拶会◎1/1 初詣(物部神社) ◎1/1 新春ゲーム大会◎1/4 1.17 震災の日(非常食作り)◎1/17
8		2	節分祭参拝(物部神社) ◎2/3
9	夜間火災避難訓練及び合同防災連絡会議 (出岡地区自主防災会と合同) ◎9/1 9.1 防災の日◎9/1 敬老会◎9/15	3	大田市福祉展への作品出展、見学 ◎3/4、5 非常食作り◎3/10 野外散策(花見) ◎3/27
その他	小レクリエーション◎8/19、12/4、2/10、買物外出支援(◎月1回)、今日は何の日献立(◎適宜)、GOTO 味巡り(◎月1回)、談話室お楽しみ会◎9/6、クラブ活動(書道、手芸、園芸、脳トレ)◎月1回、法話会(◎月1回)、炭火焼き(◎適宜)、餅つき◎12/23、そば打ち(◎適宜)、誕生祝い(◎月1回)、クッキングお茶会(◎月1回)、オンライン電話(月～金、日)◎適宜、収穫祭◎1/24 (地域交流・貢献) ふれあい食堂出前(◎月2回)、ふれあい食堂民生児童委員との連絡会議◎1/27、非常食づくり◎9/1、10/11、1/17		

3. 福寿園(養護老人ホーム)

入園者の、「安心安全な生活の場」となるように、感染症予防の徹底、体調管理、事故防止に取り組む必要なサービスの選定と支援を行っていく。

近年、新規入園者の中に精神疾患の方や虐待で措置になった方、生活習慣や金銭管理等の見守りが必要な方の入所も増えている為、養護としての役割が果たせるように、医療、介護保険、障害福祉サービス等の地域ネットワークを活用しながら、入園者が自立した生活が送れ、地域活動に活発に参加し、楽しみを持って生活出来るようにする。

人材育成・専門性の向上として、様々な疾患や生活歴のある方への対応について、多職種間で情報共有と計画的に勉強会を実施し、職員一人ひとりの専門的知識・技術を高め、個々の状況や状態に沿った対応が出来る職員を育てる。

今年度の魅力あるプログラム作りとして年度初めに入園者に「今年やってみたいこと」の希望を確認し、その希望が実現できるよう全職員で協力し実施する。

地域から必要とされる施設となるよう、非常食づくりや防災等の活動に参加し、関係づくりを行い、福寿園建て替え後の交流につなげていく。

福寿園建て替えについては、計画的に進めていくとともに、現状の施設の建物や設備の維持管理に努める。

「安心安全な生活の場」となるように感染症予防の徹底や体調管理を行いながら、閉じこもり予防の為の活動や身体状況に応じた治療食の提供等を職員会議、処遇給食会議で意見と知恵を出し合い実施した。

精神疾患や認知症の既往がある入園者が増えてくる中、精神科通所サービス、同法人内介護保険サービス事業所や介護支援専門員を中心に連携し入園者への介護保険サービスの利用促進、

生活状況、身体状況に合わせ介護保険認定の変更やサービス内容の見直し等を介護支援専門員と相談しながら行い、福寿園で生活を送れるよう支援した。

人材育成・専門性の向上に於いては主任から中堅職員への OJT や面接、中堅研修等による指導助言を行い、また会議等で意見を出し合い個々のレベルアップに繋げた。

「今年やってみたいこと」について、個々の入園者のやりたいことの聞き取りを行い、全職員で協力しながら実施し、生活の中に楽しみ、喜びを感じてもらえる事ができた。

土砂災害訓練、防犯訓練、火災避難訓練、非常食づくりでは川合町自主防災会協議会や川合まちづくりセンター等地域と連携しながら継続して取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症については年末年始にかけて集団感染が発生し行事等の見直し、中止を行い、更なる感染拡大防止に向け、嘱託医、保健所の指示のもと感染対策を一層強化した。また、大田市より災害対応として感染対策用品の支給を受け入園者の感染拡大防止する事ができた。

福寿園建替えに向けて情報収集を行うと共に、備品の補助金について法人本部と必要物品等を協議しながら計画的に進めた。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	外出支援（図書館）◎4/20 園芸活動◎4/25 春を楽しむ会（屋外散歩）◎4/28	10	秋を楽しむ会（焼き芋・軽体操）◎11/2
5	野外食（かまどご飯）◎5/18	11	川合町文化祭作品展示◎11/12、13
6	土砂災害訓練◎6/9 野外散策（ポピー）◎6/10 福ふく広報発行◎6/25	12	クリスマス献立◎12/25 門松作り◎12/30 餅つき◎12/28 正月飾り付け◎12/31
7	川合保育園との交流◎7/29 防犯訓練◎7/15	1	
8		2	節分会◎2/3 夜間火災避難訓練◎2/9 冬を楽しむ会（新春ゲーム）◎2/17
9	夏を楽しむ会（夏まつり、花火）◎9/1 夏祭り献立◎9/1 敬老祝い膳◎9/25 相愛保育園との交流◎9/29	3	ひな祭りお茶会◎3/3 日中火災避難消火訓練◎3/20 お花見お茶会◎3/30
その他	お楽しみクラブ（毎日）◎毎日、クッキング（随時）◎随時、農作業活動（随時）◎随時 誕生会（月1回）◎月1回、お茶会（月1回）◎月1回、選択食（月1回）◎月1回、 バイキング（月1回）◎月1回、法話会（月1回）◎6/23、2/23、3/23 買い物代行（適宜）◎適宜		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 357日（1月1日～1月3日まで休園、新型コロナウイルス感染症による休園5日）

サービス提供時間 7：00～19：30

保育目標「感性豊かな子ども」の土台となる主なもの「心身共に丈夫な体」「言語の理解と獲得」「身の周りのことへの興味・関心」を大人になっても必要な力と考え、それらをより豊かにする取り組みを行う。

「心身共に丈夫な体」では、散歩や体操教室を継続し体力づくりを行う。また散歩の距離が見える化するなど、体力づくりの成果や達成感を職員と園児、保護者で共有する。「言語の理解と獲得」では、職員が子どもの言語についての理解を更に深め、絵本の読み聞かせや会話を通して、園児の聞く力や伝える力、考える力を育てる。「身の周りのことへの興味・関心」では、日頃の保育の中で挨拶や生活に必要なルール・マナーを身につける。また地域の方との交流や身近な自然に触れ、郷土愛を育む。

食育では、これまでの取り組みに加え、絵本に出てくる料理やおやつを献立に入れたり、園児が調理工程や食材について知る機会を持つなどして、栄養士と園児、保護者が関わる機会を増やし、食への興味を育てる。

より働きやすい職場環境を作るため、現状の把握や課題を分析する。それについて経験年数や職責に関わらず意見を出し合い、職員間で共通理解を持って改善に取り組む。

「心身ともに丈夫な体」を作るため、全クラス積極的に散歩に出かけ体を動かし、歩いた距離をすごろくやグラフで見える化した。年長児は1年で約190km(鳥取砂丘付近まで)歩いた。体操教室では、様々な運動遊びを通して楽しみながら体の使い方を知り、挑戦する気持ちや達成感などを感じることができた。

「言語の理解と獲得」では、職員研修や発話調査、描画から実態を把握し、園児への保育士の声掛けや絵本の選び方を見直し、子どもたちが言語を理解し獲得できるようにした。

「身のまわりのことへの興味・関心」では、10月に年長児は石見銀山、年中・年少児は三瓶山に行き、大田市の歴史や文化、身近な自然への興味・関心を育てることができた。また生活に必要なマナーやルールを意識できるよう園児に継続して声掛けをし、挨拶や履物を揃えるなど子ども自身が進んで行うようになった。

食育では、絵本に出てくる料理やおやつを毎月提供し、その様子を冊子にまとめ玄関に展示した。また野菜をキャラクター化し、その体中での働きを園児に分かりやすく伝えたことで、園児と保護者の食への興味・関心をより高めることができた。

主任を中心に朝のミーティングやホワイトボードで業務の進捗状況を把握し、それに合わせた職員配置を行い、時間内に業務が終わるようにした。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、日頃から園児、職員の手指消毒、玩具や室内の消毒をこまめに行った。保護者にも園児の体調管理や園内での感染状況について情報を提供し早期受診を促すなどして感染拡大を防ぐことができた。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	入園・進級式◎4/2	10	親子運動会◎10/1 園外保育◎10/21 箱寿司づくり◎10/1 親子遠足◎10/21
5		11	ハロウィンパレード(地域交流) ◎11/22 作品展◎11/7 c 12/16 炊き出し訓練◎11/17 小学生との交流会◎11/28

6	<u>幼児組保護者参観</u> ◎6/25 <u>虫歯予防集会</u> ◎6/3 <u>園児歯科検診</u> ◎6/29	12	<u>餅つき会(地域交流)</u> ◎12/13 <u>クリスマス会</u> ◎12/28 <u>個人懇談(全クラス)</u> ◎12/5~12/9
7	<u>七夕会</u> ◎7/11 <u>夏祭り</u> ◎7/23 <u>プール開き</u> ◎7/11 <u>個人懇談</u> ◎7/25~7/29、8/1~8/5	1	
8	<u>プール納め</u> ◎8/29、8/30	2	<u>節分会</u> ◎2/3 <u>親子お楽しみ会</u> ◎2/4 <u>継続児健康診断</u> ◎2/28 <u>雪あそび</u> ◎2/10 <u>かまぼこ工場見学</u> ◎2/6
9	<u>園児健康診断</u> ◎9/27	3	<u>お別れ会</u> ◎3/16 <u>なかよし遠足</u> ◎3/10 <u>乳児組保護者参観</u> ◎3/13~3/17 <u>ひなまつり会</u> ◎3/3 <u>パン作り</u> ◎3/23 <u>新入园児健康診断</u> ◎3/1 <u>卒園式</u> ◎3/25
月例 行事	<u>誕生会</u> ◎月1回 <u>身体測定</u> ◎月1回 <u>避難訓練</u> ◎月1回 <u>お茶のおけいこ</u> ◎6/29、10/5、12/20、2/9、3/20 <u>体操教室(年長児)</u> ◎4/11、4/19、5/31、6/14、6/21、8/2、8/9、8/19、9/13、10/4、 10/11、11/22、11/29、12/6、12/13、2/28、3/7、3/14 <u>習字(年長児)</u> ◎5/29、7/26、8/31、11/30、1/12、3/2 <u>クッキング保育(夏期を除く)</u> ◎5/2、5/5、1/6、2/3、3/3、3/13		
その他	<u>法人内高齢者施設との交流会</u> ◎8/8、9/1、9/29、10/7、2/27、3/3、3/17 <u>絵画教室</u> ◎3/7 <u>一日保育士体験(各クラス)</u> ◎10/18、10/26、10/27 <u>環境整備(春、秋)</u> ◎5/31、7/21 <u>お弁当ごっこ</u> ◎5/20、10/4、11/17、12/9、1/13、 <u>防犯訓練</u> ◎6/22、7/26、11/18 <u>芸術鑑賞</u> ◎月1回 <u>習字(年中児)</u> ◎3/27 <u>子どもの姿勢改善の運動</u> ◎月1回 <u>地産地消ビュッフェ</u> ◎4/21、8/18、10/28 <u>デリバリー給食</u> ◎5/20、10/4、10/18、3/28 <u>自然体験</u> ◎5/10、5/18、5/30、6/2、6/15、7/21、7/25、9/8、9/16、9/20、9/28 <u>読み聞かせボランティア</u> ◎10/6、1/19、2/16、3/2、3/9、3/16		

通所介護サービス

5. ビラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 299日(日曜日及び1月1日~1月3日休業、新型コロナウイルス感染症による休業13日、
日曜日振替営業1日)

サービス提供時間 9:30~16:35

人材育成・確保において、主任・中堅職員のリーダー力を高め、現任職員への指導を通して、事業所全体のレベルアップを目指す。働く職員の様子などの情報発信を通じて、安心して働けることをアピールし人材確保対策をおこなう。

事業の特色として「思いに耳を傾け、一人ひとりの満足感のある活動を」を目指していく。寄り添う時間を確保し「思い」を知り、満足感を得てもらえる目的に合ったプログラムを実施

する。自宅での生活機能の維持・向上に向け、家族との情報共有を行い、機能訓練の様子や変化を分かりやすく伝える。認知面へのケアに関しても客観的な評価基準（認知機能評価等）を活用し、より個別な支援をおこなっていく。

また、地域の通いの場へ参加し、地域との連携や求められることへの対応により、地域貢献の取り組みを継続する。

特色や目標の収入達成に向けて主任・中堅職員がリーダーシップを発揮し新人や現任職員に対して指示・指導し課題解決に向けて取り組んだ。また中堅職員研修を主任が中心となって行い、中堅職員に求める事を確認、中堅職員はまず自分が主となり伝達、発信する事を実践することで事業所全体のレベルアップに繋がった。一緒に働く先輩たちと話し、仕事に対する思いや家庭との両立など働く職員の声をホームページに掲載すると共に、色々な職種の職員が働いている事を発信し、人材確保対策として取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症対策として、消毒の徹底や密を回避しながら事業を行い、利用者一人ひとりに主担当をつけ、「やってみたい」ことを活動に盛り込むことで喜んでいただき満足感を高めた。また居宅訪問チェックシートにより自宅での様子を把握し、自宅での生活に沿った訓練を行うと共に、認知面へのケアについては、作業療法士が認知機能評価を実施し、個々の目標を活動内容に反映させることでより個別な支援を行った。またホームページへの掲載や家族との連絡ノート・送迎時を利用して伝える事で情報を共有した。

地域の通いの場へ参加する際は事前に要望を聞き、転倒予防体操や食中毒予防の勉強会をおこなった。

行事

月	行 事	月	行 事
4	屋外訓練（花見）◎4/2～22	10	屋外訓練◎10/28～30 火災避難消火訓練◎10/19 感染症予防教室◎10/24～26 保育園交流◎10/7
5	火災避難消火訓練（ケアハウス合同）◎6/2 屋外訓練◎5/9～28	11	家族交流会◎10/4 屋外訓練（紅葉）◎11/9～17 川合町文化祭出展◎11/12
6	食中毒予防教室◎6/27, 28 屋外訓練◎6/20～30 ケアハウスピラおおだ合同通信発行◎6/1 家族交流会◎対象者へ通信発行	12	クリスマス忘年会◎12/12～16 脱水予防教室◎12/5～8
7	七夕会◎7/7 屋外訓練◎7/16	1	新年会◎1/5 初詣◎1/10～13 土砂災害訓練（ケアハウス合同）◎3/9
8	納涼祭◎8/3～6	2	節分会◎2/3
9	敬老会◎9/12～17	3	ひな祭り会◎3/3 福祉展出展◎3/4
その他	ピラおおだデイ通信◎誕生月で個別 クッキング◎毎月1回程度、喫茶◎毎月1回、抹茶の日◎毎月1回		パン作り教室◎6/29、1/20

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 304日（日曜日及び1月1日～1月3日休業、新型コロナウイルス感染症による休業7日）

サービス提供時間 9：30～16：35

「どうしたら、利用者の在宅での生活が充実したものになるのか」在宅での生活を支える為に必要な機能を強化する為に、生活機能チェックシート、興味関心チェックシートを活用し全職種が一体となって、利用者の生活全体のアセスメントを行う。

個別援助計画の目標設定については、利用者自身が「できる」「やりたい」との気持ちを持つような具体的で生活に密接したものとし、達成、充実感が味わえるものとする。また、目標達成に向けて職員の介助、ケアだけでなく環境面からのアプローチ等も専門家として検討し提案する。

重度化や医療依存度の高い利用者、認知症の進行等の多様化するニーズに即した事業所内研修を計画すると共に、利用者、家族に信頼し喜んで頂けるように接遇、マナーの向上、事故防止については小さな気づきも積極的に発信し職員間で共有、業務マニュアルを適宜変更し実施することで専門性の高いサービスを提供する。

地域との繋がりを大切にし、通いの場や地域行事へ出掛け、情報収集、発信の場を通じて様々な意見を聞き、今後のサービスに繋げる。

リーダーが中心となり、コミュニケーションを深め風通しの良いチーム作りを行い、プラスの発想を常に持ち言葉にして伝える。各職員が自発的に取り組めるようサポートをしながら業務をすすめる。

住み慣れた自宅での生活を続ける為に、生活機能チェックシートや興味・関心チェックシートを活用し、また利用者、家族の日頃の言動等から多職種で色々な視点から生活アセスメントを行い、利用者の生活課題（心身機能、活動、参加）を把握した。

利用者の個々の目標を分かり易い言葉で具体的なものとする事で利用者自身が前向きな気持ちで取り組めるようにした。

今年度、新たにリハビリルームを設け、多職種が参加する月1回のリハビリ会議を開催し、プログラム内容の変更やマンネリ化防止、リハビリルーム活用についての意見を出し合い実践した。また、日ごろの介護職員の支援方法についても、利用者の持っている力を活かす支援方法を検討し、本人主体の支援を統一して行った。

事業所内研修においては、各職種で担当制にしテーマに沿って現場ですぐに役立つ内容の研修を計画的に行った。

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら地域に出掛けたり、毎月のあさやま通信の発刊、毎日のホームページの更新にて、地域、利用者、家族へ利用時の様子を分かり易く情報発信を行った。

事故防止等については、毎日のミーティング時に気づきの振り返りを行い、介助方法の意見を交わし、毎月の職員会議時には業務マニュアルの見直しを行った。

日頃の業務に関しては、職員一人ひとりに業務効率の改善策を提案してもらい、速やかに取り組むことで、働きやすい環境作りを行った。また、リーダーより他職員へ意見を求めたり任せたりすることで自信をもって取り組めるように、助言や指導を行い、業務を進めた。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(ドライブ) ◎4/8、4/22 野外食◎4/5、4/20 屋外訓練(多伎伝習館) ◎4/16、4/18 交通安全教室◎4/7 ボランティア(落語鑑賞) ◎4/6	10	運動会◎10/19、10/20
5	屋外訓練(花見) ◎5/18、5/19、5/20 屋外訓練(ピクニック) ◎5/11 野外炊飯◎5/26 体力測定◎5/23、5/24、5/25、5/26、 5/27、5/28	11	あけぼの保育園交流◎11/1 文化祭出展・参加(朝山)◎11/5 文化祭出展・参加(富山) ◎11/16、11/18 屋外訓練(ピクニック) ◎11/24 体力測定◎11/21、11/22、11/23、11/24、 11/25、11/26 絵手紙教室◎11/30 土砂災害避難訓練◎11/17
6	日常生活動作訓練◎6/20、6/22、6/23 陶芸教室◎6/16 地域貢献事業(朝波小学校) ◎6/1 屋外訓練(多伎伝習館) ◎6/17、6/18、6/21 食中毒予防・熱中症予防教室 ◎6/16、6/17	12	クリスマス会◎12/23 そば道場◎12/22 忘年会◎12/13、12/14 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/20 伝習館しめ縄作り◎12/10 餅つき◎12/26 感染予防教室◎12/6
7	七夕◎7/7 屋外訓練(ドライブ) ◎7/8 火災避難消火訓練◎7/22	1	初詣◎1/11 新年会◎1/5 お茶会◎1/27
8	夏祭り◎8/19	2	節分◎2/2 お茶会◎2/20 食育教室(巻き寿司) ◎2/2 屋外訓練(多伎伝習館) ◎2/10、2/24 2/25 相愛保育園劇観劇◎2/27
9	敬老会◎9/21、9/22 屋外訓練(ドライブ) ◎9/20 食育教室(箱寿司作り) ◎9/15 相愛保育園交流会◎9/1	3	火災避難消火訓練◎3/2 ひなまつり会◎3/3 お茶会◎3/29 屋外訓練(キララ多伎) ◎3/7 屋外訓練(多伎伝習館) ◎3/18、20 屋外訓練(花見) ◎3/30、3/31 富山通いの場(神楽見学) ◎3/30 屋外食◎3/27~3/31
そ の 他	喫茶◎月1回、園芸活動◎年30回、奉仕活動◎年1回、クッキング◎年12回		

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日 304日（日曜日及び1月1日～1月3日休業、新型コロナウイルス感染症による休業7日）
サービス提供時間 9：30～16：35

利用者のことをより深く知るために、子供の頃や昔の思い出せる記憶をゆっくりと時間をかけながら聞き取りを行い、どんな暮らしをしてきたのか利用者がどんな想いを持っているのかを、家族、各関係機関で情報共有し日々の支援を行う。

定期的な認知機能評価、興味関心チェックシート、日々の生活の中でのアセスメントから利用者の意欲や望みを捉え、出来ることを支援し、やりたいことの支援についてはリスクも考えられるがどのようにしたら実現出来るかをチームで考え実践する。また、感情には残ることを意識して周囲から認められることで好感情を得られるプログラムを計画する。

認知症への先入観を持たず一人の「人」として向き合い、利用者の感情（不安、つらい、苦しい、楽しい、嬉しい）に寄り添い、ゆっくりと分かり易い言葉で利用者を受け入れる姿勢を持ち、必要時には非言語的コミュニケーションを交えながらケアの実践をする。

認知症状の進行等によるニーズの変化に即した事業所内研修を計画し、利用者、家族に信頼し喜んで頂けるように接遇、マナーの向上、事故防止については小さな気づきも積極的に発信し職員間で共有し、業務マニュアルを適宜変更し実施することで専門性の高いサービスを提供する。

地域との繋がりを大切にし、通いの場や地域行事へ出掛け、情報収集、発信の場を通じて様々な意見を聞き、今後のサービスに繋げる。

リーダーが中心となり、コミュニケーションを深め風通しの良いチーム作りを行い、プラスの発想を常に持ち言葉にして伝える。各職員が自発的に取り組めるようサポートをしながら業務をすすめる。

日々の関わりの中でのふとした仕草や会話、言動、興味・関心チェックシートから利用者の思いを理解し、また認知機能評価（MMSE）にて利用者の認知機能の状態の把握を行い、利用者を深く知ること、その人らしさを把握した。収集した情報をもとに、利用者一人ひとりが「何がやりたいのか」「何が出来るのか」出来ることをどのように続けてもらうのか、利用者が喜びや満足感等を感じることが出来るのか、少人数での処遇会議を行い、個別プログラムの立案、実践、振り返りを行い取り組んだ。

認知症の周辺症状（BPSD）、進行状態に合わせて、まずは利用者の思いを受け止め本人のペースに合わせた傾聴、受容、共感の基本的な姿勢を大切に実践した。必要時には専門医受診に同行を行い、現状報告や相談、支援に向けてのアドバイスを受け、実践した。

事業所内研修においては、各職種で担当制にしテーマに沿って現場ですぐに役立つ内容の研修を計画的に行った。

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら地域に出掛けたり、毎月のあさやま通信の発刊、毎日のホームページの更新にて、地域、利用者、家族へ利用時の様子を分かり易く情報発信を行った。

事故防止等については、毎日のミーティング時に気づきの振り返りを行い、介助方法の意見を交わし、毎月の職員会議時には業務マニュアルの見直しを行った。

日頃の業務に関しては、職員一人ひとりに業務効率の改善策を提案してもらい、速やかに取り組むことで、働きやすい環境作りを行った。また、リーダーより他職員へ意見を求めたり任せたりすることで自信をもって取り組めるように、助言や指導を行い、業務を進めた。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見弁当) ◎4/6 屋外訓練(ドライブ) ◎4/8、22 屋外訓練(多伎伝習館) ◎4/16、18 ボランティア(落語鑑賞) ◎4/6 交通安全教室◎4/7 認知機能評価◎4/11、4/12、4/13、 4/14、4/15、4/16	10	屋外訓練(田儀)◎10/28 運動会◎10/19、10/20 認知機能評価 ◎10/10、10/11、10/12、10/13、10/14、 10/15
5	屋外訓練(ローズガーデン) ◎5/18、19、20 野外食(ピクニック) ◎5/11 野外炊飯◎5/26	11	あけぼの保育園交流◎11/1 文化祭出展・参加(朝山)◎11/5 文化祭出展・参加(富山) ◎11/16、11/18 屋外訓練(ピクニック) ◎11/24 絵手紙教室◎11/30 土砂災害避難訓練◎11/17
6	陶芸教室◎6/14 屋外訓練(多伎伝習館) ◎6/17 家族介護教室◎6/13 食中毒予防・熱中症予防教室◎ 6/15、16	12	クリスマス会◎12/23 そば道場◎12/22 忘年会◎12/13、12/14 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/20 伝習館しめ縄作り◎12/10 餅つき◎12/26 屋外訓練◎12/16 感染予防教室◎12/6
7	七夕◎7/7 火災避難消火訓練◎7/22	1	初詣◎1/11 新年会◎1/5 お茶会◎1/27
8	夏祭り◎8/19	2	節分◎2/2 お茶会◎2/20 食育教室(巻き寿司) ◎2/2 屋外訓練(多伎伝習館) ◎2/10、2/24 2/25
9	敬老会◎9/21、22 屋外訓練(ドライブ) ◎9/20 食育教室(箱寿司) ◎9/14	3	火災避難消火訓練◎3/2 ひなまつり会◎3/3 屋外訓練(キララ多伎) ◎3/7 屋外訓練(多伎伝習館) ◎3/18、20 屋外訓練(花見) ◎3/30、3/31 富山通いの場(神楽見学) ◎3/30 屋外食◎3/27~3/31 お茶会◎3/29
そ の 他	喫茶◎月1回、奉仕活動◎年1回、クッキング◎年60回		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 298日（日曜日及び1月1日～1月3日休業、新型コロナウイルス感染症による休業13日）
サービス提供時間 9：30～16：35

利用者の「在宅生活との繋がり」に視点を置き、「食事」「機能訓練」「趣味活動」の3つの柱を中心に、生活の張りに繋がる活動の提供を行う。大きな特色のひとつとする楽しみのある食事では選択食、行事食、定番メニュー等、満足度の高い食事を提供し、クッキングでは、実際に生活へ活かせるメニューを実施し、生活の支援を行う。機能訓練では、機能訓練指導員を中心とし、重度者介護の家族負担軽減に向けたリハビリや軽度者が自宅で取り組めるメニューを紹介しながら在宅で活かせる生活リハビリを継続する。趣味活動では、利用者の生活アセスメントを行い、利用者の「やってみたい」「してみたい」活動を積極的に取り入れ、楽しみながら取り組み、通うことの目的となり、達成感の向上に向けた支援を行う。また、家族への助言や各関係機関への情報発信をタブレット等を活用し、利用者の日頃の活動を分かり易くPRを行い、事業所の特色をより知って頂けるような発信を積極的に行う。

人材育成では、職員一人ひとりの考えをどう引き出し、それをどう行動へ移していくのか、リーダー的職員を中心に相談、助言を行いながら、次世代を担う職員の育成を行う。

リスクマネジメントの強化として、接遇、事故防止対策を定期的に見直ししながら安心安全で居心地の良いデイサービスを更に築いていく。

利用者の「在宅生活との繋がり」に視点を置き、サービス担当者会議等で在宅生活の様子を確認し、アセスメントの実施、利用者の目標を設定した。また職員間で情報共有を行い、目標に合わせた、支援を行った。「食事」「機能訓練」「趣味活動」の3つの柱を中心に、食事では満足感と楽しみのある食事を提供し、クッキングで季節感を取り入れ、昔を思い出してもらうような料理作り、自宅でも継続出来る野菜の皮むき等の作業を行い、在宅生活に活かした。機能訓練では、機能訓練指導員を中心とした続けられる生活リハビリを実施し、利用者の在宅生活を支えた。趣味活動では、利用者の行ってみたい活動を取り入れ、デイサービスでしか出来ない活動や在宅でも継続出来る活動の支援を行った。毎月の個人通信の作成、毎日のホームページ更新、利用者の食事内容等、家族や介護支援専門員等関係者に分かり易い形で情報発信を行い、PRを行った。

リーダー的職員を中心に利用者の個別マニュアルについて、計画書を基に見直しを行い、定期的に改善し、統一した支援を継続して行うと共に日々の活動や業務について相談、助言を行いながらを進めた。

事故防止対策委員会を中心に、気づき、ヒヤリハットを検証し、職員間で情報共有を行い、必要に応じてマニュアルの点検や見直しを実施しながら、事故防止対策を行い、併せて接遇についても見直しを行いながらサービスの質を高めた。

新型コロナウイルス感染症発生時における事業継続計画及びマニュアルを基に、館内の消毒、換気等の予防対策の徹底と職員、利用者の体調管理、把握を行った。発生時には、保健所の指示に従い、利用者、家族、関係機関への連絡、PCR検査等対応を行い、早期再開に向けて取り組んだ。

行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練◎4/19、20、21、22	10	運動会◎11/8、10 体力測定◎10/17、18、22、26 感染予防教室◎10/26、27 屋外訓練◎10/19、20、21
5	屋外訓練◎5/18、19、20 ピラたかやま通信発刊◎6/28	11	文化祭出品 見学 大森◎11/13 祖式◎11/23 屋外訓練◎11/22 火災避難消火訓練◎3/6
6	火災避難消火訓練◎6/9 熱中症・食 中毒予防教室◎6/6、7、8 屋外訓練◎6/21、22、23 体力測定◎6/21～27	12	忘年会◎12/14、15、16 餅つき◎12/27 クリスマス会◎12/24
7	七夕◎7/7 夏祭り◎8/17、18、19	1	新年会◎1/5、6、7 お茶会◎1/13 屋外訓練◎1/10、11、12
8	屋外訓練(中止)	2	節分◎2/3
9	敬老月間◎9/20～22 お茶会◎9/19 屋外訓練◎9/13、14、15 土砂災害避難訓練◎9/27	3	ひな祭り◎3/3 屋外訓練◎3/13～23
その他	プチカフェ◎月1回、パンの日◎月1回、あつあつメニューの日◎月1回		

訪問サービス

8. ピラおおだホームヘルパーステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

可能な限り居宅等で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の生活及び個人の尊厳を保持し、その有する能力に応じ自分らしい日常生活ができるようサービス提供をする。

人材育成として、基本的な知識、技術を基本とし、更なるスキルアップに向けて、事業所内研修等を実施する。また、サービス提供にあたっての利用者に関する情報の伝達・報告を徹底し、サービス提供責任者との連携を図り自立支援という専門性を持って寄り添うサービス提供に繋げる。

目標達成に向け主任を中心に、様々な角度より経営分析を行い適正な経営に繋げる。

働きがいのある職場環境の推進として、サービス提供責任者を中心に、訪問介護員間との情報の共有（ホウ・レン・ソウ）による職場内のコミュニケーションに努め、業務の効率化を進め、よりよい介護の提供に繋げるため、引続き取組む。併せて健康づくりも実施する。

特色づくりとして、高い専門性のある訪問介護員による、求められるニーズに対応できる安心と信頼性がある事業所として、情報発信を行い、人材確保等にも繋げる。

リスクマネジメントとして、気づきやヒヤリハットを基に、予防と発生時の適切な対応、新型コロナウイルス感染症等の対策にも取組み、事業継続計画についても適宜見直しを行う。

また、居宅介護支援事業所、及び関係機関との連携を図り、信頼性のある選ばれる事業所づくりに取組む。

利用者が安心して、残存能力を維持しながら自立できるよう、事業所の特色である観察力で些細な変化に気づき、対応することで安心感と満足感を高めた。また利用者や介護支援専門員に信頼された結果として目標額を達成できた。看取り介護にあたっては、他職種との連携を取り、病状に合わせて情報を共有し、順応したサービス提供を実施した。

人材育成として、個々の職員がスキルアップのため目標を設定し、接遇、身体介護など動画を活用した研修や同行訪問時に注意点など指導、助言を行い、質の高いサービスを提供した。また同行援護従者資格を1名が取得することができた。

サービス提供責任者が事務所にいる体制をとることですぐに報告・連絡・相談ができ、利用者にとって最善のサービスをよりスピーディーに実施することができた。併せてタブレットとタブレット用の介護ソフトを導入し、業務の効率化を図ると共に、連絡事項にも活用した。新型コロナウイルス感染症対策については、他事業所からの情報収集や、訪問時の観察、予防着の脱着研修を行い、継続して職員と利用者の健康に配慮しながらサービスを提供した。

9. ピラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

長く地域で培ってきた経験や人脈を活かすとともに、毎週開催するケース検討会では医療・福祉の基礎資格を持った複数の介護支援専門員が多角的な視点でケアマネジメントを行い、中重度の認知症や医療依存度の高い支援困難ケースであっても在宅で適切なケアを受け、安心して地域で暮らしが続けられるよう支援する。

人材育成についてキャリアパスに基づいた目標管理を行い、研修への参加やOJT、スーパービジョン（対人援助職の教育手法）の実践により自らの成長を図り、他の職員を育て支える力を身につける。また実習生の受け入れにより、規範となる相談援助の推進と指導力の向上を図る。地域ケア会議では直面している地域課題を提言し、地域包括ケアシステム内での役割を果たす。

介護業界でもテクノロジーの活用推進が進められている中で情報収集に努め、業務の効率化や改善、職員間での連携を強化することで働きやすい職場づくり、帰属意識の向上を図る。

これらの取り組みはホームページへの掲載や各関係機関へ情報提供を行い、選ばれる事業所となるよう周知するとともに新たな職員の確保にも繋げていく。

特定事業所として包括支援センター等から紹介のあった支援困難ケースを積極的に受け入れ、医療福祉の各関係機関と連携を図りながら在宅生活を支えた。毎週のケース検討会では情報共有や指導助言の場として活用し、介護支援専門員同士でサポートしあいながら専門知識や技術を身につけた。介護支援専門員実務研修見学実習では1名の実習生を受け入れ、基礎を押さえると共に指導力の向上を図った。またスーパービジョンによる研修も継続して行い、スキルアップを図ったほか、各自が目標管理に沿って研修や試験に臨み、主任介護支援専門員の資格取得や資格の更新、社会福祉士の資格取得をすることができた。

業務の効率化・改善に向けて、介護ソフトや連携ツールの活用、書類の電子化等、情報収集や検討を重ね、働きやすい職場づくりに努めた。

様々な活動状況はホームページ等で周知を図り、地域包括支援センター、大田市立病院へはこまめに足を運んで情報交換・収集を行い、顔の見える相談しやすい関係づくりを行った。

新型コロナウイルス等感染症について最新の情報収集に努め、各関係機関と連携を図りながら支援を行い、合わせて特定事業所集中状況の把握と新規ケースの獲得や加算取得に努めた結果、当初の予算目標を達成することができた。